

不老川だより

川のささやき

Vol.
65

2013年10月1日発行
不老川流域川づくり市民の会
代表：丸橋 かほる
TEL：04-2959-3831
<http://furougawa.mods.jp/>



彼岸花の咲く季節
上藤沢中と不老川

contents

シリーズ
来て！見て！不老川 V 入間市上藤沢中裏

特集 ブラタモリ？ブラ不老川

市民がつくった名所・・・東久留米野草園

私たちの川づくりマスタープラン

不老川のうたが生まれた！

不老川の
草木

アメリカイヌホオズキ (ナス科)



北アメリカ原産の一年草 やや湿った所を好み、道端などでもよく見かける。花期は6～11月と長く、淡紫色又は白色の花を付ける。果実は光沢のある黒色になる。

その日もいつもと同じように、水中に魚影を探し、水草や土手の植生を見ながら上流へと歩いた。国道463号バイパスを越えて、畑の中のゆるやかな蛇行の先に上藤沢中が見えてきた。右岸の学校と左岸側の小さな林がしっとりとした情景を作っている。ここまで来ると不老川も水巾が狭く、水面が近いので親しみやすい。私達は口々に「学校の環境にふさわしい雰意気だね」「ここに水辺の楽校をつくれなかな？」としゃべっていた。

そしてふと対岸の林を見た。緑の下草の中に、点々と赤い彼岸花が見える。花は弧状に連なり、林を横切って咲いていた。どうして？・・・

川のかたちを見て気がついた。あの林の下は、以前川が流れていた旧河川なのか。彼岸花は水を好み、流れに沿って広がっていくという。花の下の地中には、まだ水路が残っているのだろうか。

彼岸花は失われた水の記憶を伝えていた。

特集 ブラタモリ？ブラ不老川

消えてしまった水みちを探しに行こう



皆さん、左のような石を見たことがありますか？家の敷地境界石に似ていますが、もう少し大きくててっぺんが黄色く塗ってあります。これが河川用地境界石。でも川に平行に走っているわけではありません。境界石で示された河川用地は所どころ三角だったり、二重だったり。どうして？

道路に沿って、樹木が帯状に延びていた。旧河川かしら



みんなで手分けして石さがし

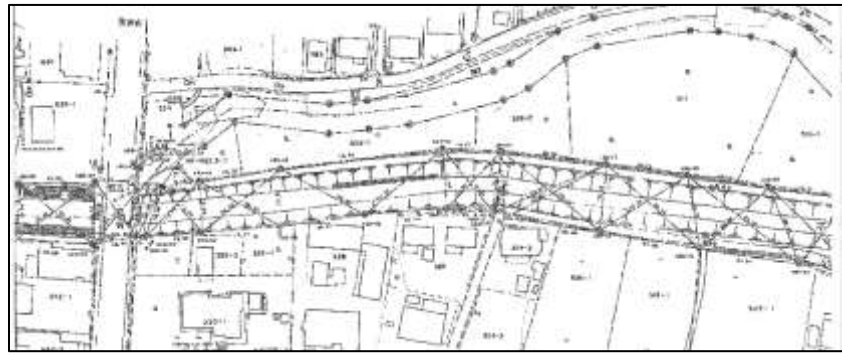


ハテナ？どこからが川なんだろう



改修によって流れを変えられた旧河川の跡地が、所どころに残っていました。小さな場所でも立派な公有地、使い方では素敵な不老川になりそうです。

ある日、この境界石を追って歩きました。西武新宿線鉄橋～山王橋不老川境界図を手にとって。



不老川境界整備図（昭和55年度作成）狭山市入曾橋上流付近 当時は河川用地が二重になっていた。



次の石はどれかな？



このあたりを流れていたようだよ

私たちの川づくりマスタープラン

不老川で思う「いい川」とは、どのような姿なのでしょう。流域はいくつかの顔を持っていますが、少なくとも手つかずの自然が残る場所はないし、ただ人工的な調和を追求するという場所でもなさそうです。私たちはこれまで、流域に受け継がれてきた良いところ（お宝）や利用状況などを確認しながら、筋の通った不老川のあるべき姿を考えてきました。

この川も改修工事が徐々に進んで、次の対象地は、川越と狭山の市境にある石橋付近から上流の草刈橋までとなっています。そこで、より良い工事がなされるよう、私たちはこの場所に適した川の姿を考えながら、行政と何度も協議を重ねているところです。

この辺りは新田開発当時の面影が残り、川と畑地や屋敷林・段丘斜面林とが一体となった風景が広がる、特徴的な場所です。また、上流から続く直線河道が柔ら

かくカーブを描き、川に沿った木々が見る人に安らぎを与えてくれる所でもあります。

このようなお宝をより際立たせるためには、緑の連続性を保ちつつ、人の営みの感じられる場所にすることが求められます。具体的にいうと、河川用地内の空き地に木を植えて、隣接する雑木林へと質感をつなげたい。川の流れに淵や瀬があるような、魚も人も憩える空間を創りたい。これが私たちの提案です。

今は植える木の種類について、この場所のあるべき姿を見据えながら、考え方をまとめているところです。石橋周辺の改修後、私たちにも皆さんにも「いい川だなあ」と感じられる日が来ることを願っています。



第14回 大森の池まつり/7月21日(日)開催



涼やかな風の吹く、からっとしたお天気にも恵まれ、約460人の家族連れでにぎわいました。今年のカヌーは子ども専用。池の中にかわいい声が響きます。昼前のひと時、子どもたちは魚捕りに不老川へ出かけて、テントのまわりは閑散としてしまうほどです。それぞれに捕えた魚を水槽に入れ、しばし眺めます。

オイカワ、アブラハヤ、ギンブナ、クチボソ、メダカ、ドジョウ、ウキゴリ、カワエビ、ヌマエビ、ザリガニ多数。今年の魚は、ほとんどが5センチ足らずの幼魚たちでした。

午後のハンノキ林での虫探しには、16人の親子が参加。今年は、青や緑のイトトンボが目立ちました。池の中から、その幼虫とおぼしきヤゴがとられました。年々トンボや蝶の姿が見られなくなって、ちょっと心配です。

来年の池まつりも、おおぜいの子どもたちが魚や虫を追って、楽しい一日を過ごせますように。



不老川のうたが生まれた!

2013. 8. 25

〈ふじみ野市産業文化センターで初演〉

作曲者の佐々木さんから連絡を受け、初演される合唱コンサートに行きました。花をテーマにした優しい歌が続き、大詰めが初演の3曲です。最初に当会から不老川と会の活動を紹介し、不老川のうた「つながる」が始まりました。小学生〈ふじみ野少年少女合唱団〉・大学生・大人の三つの合唱団が合同して、37名のコーラスです。

うたに込められた佐々木さんや多くの人の不老川への想いが詞になり、会場に感動が広がっていきました。

初演の成功 おめでとう!

♪ つながる ～不老川のうた～ ♪

作詞・作曲 佐々木信綱

穏やかな流れ	たおやかな流れ	流るる 流るる
それは心のふるさと	それは正に爽やかで	この川の美しき想い
武蔵野の地をただ一途に	心の中をただ一途に	つながる つながる
走る一筋の線	走る一筋の線	あの海へ あの空へ あの天まで届け

山王塚だより 実りの秋へ



「ツリバナ」の赤い実を見に来てください。

川仲間バンザイ!

〈佐々木信綱さん〉

佐々木さんは「川のささやき」を見て市民の会の活動に感動し、不老川のうた「つながる」を作曲しました。そして「私は音楽家だから、音楽を通して川づくりをしたい」と会員になりました。下流部の不老川沿いを良く見ているとのこと。去年の夏は水涸れで、アユが沢山死んでいたそうです。童謡、歌曲や合唱曲の作曲家として、美しい旋律と心に響く歌をつくり、各地で活発にコンサートや講演活動をすすめています。



☆紅葉の川歩き

幻の源流を探して

おさそい

紅葉の狭山丘陵箱根ヶ崎を6km歩きます

日時 12月1日(日)
集合 9:00 狭山市入曽公民館
参加費 100円 雨天中止
持ち物 昼食 飲み物

問い合わせ・申込み: 田端 04-2999-3312

★川歩きクラブ 毎月第1木曜日
狭山市入曽地区を定期的に歩いています。

★山王塚の森手入れ 毎月第2水曜日 10時～
問い合わせ: 村手 04-2957-3425

流域情報

★さやま環境ウォーク

県道東京狭山線をたどり、トラスト狭山～不老川～権現橋と7kmを歩きます。

日時 11月24日(日)
9:30 受付～2:00 解散

小雨決行

集合 狭山市堀兼上赤坂公園
主催 NPO 法人 狭山環境市民ネットワーク
持ち物 昼食、飲み物
参加費 大人300円 小・中学生200円

問い合わせ: 中島 04-2957-5364

会員募集中

年会費: 1000円

定例会: 毎月第3土曜日 13:30～

問い合わせ: 丸橋 04-2959-3831